



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 達男 TEL 03-3344-8861  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,967	2.2	1,332	40.9	1,239	41.4	1,163	108.8
2023年3月期第2四半期	12,682	87.1	945	—	876	—	557	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,166百万円 (108.9%) 2023年3月期第2四半期 558百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	209.47	—
2023年3月期第2四半期	100.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	44,928	14,419	32.0	2,590.28
2023年3月期	42,663	13,526	31.6	2,430.35

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,390百万円 2023年3月期 13,501百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

期末配当予想の修正につきましては、2023年10月19日付で公表いたしました「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	11.1	1,850	470.6	1,600	751.5	1,300	79.9	234.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

連結業績予想の修正につきましては、2023年10月19日付で公表いたしました「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,564,200株	2023年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,469株	2023年3月期	8,840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,555,498株	2023年3月期2Q	5,555,065株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による経済活動の活性化に伴い緩やかな回復が続いています。長期化する国際情勢不安による原材料費等の高騰や、世界的な金融引締め、急激な物価上昇による消費の抑制など、一部に景気の下振れリスクも見られるものの、当社グループを取り巻く環境においては、インバウンド需要の大幅な回復や国内旅行需要の増加、健康意識の高まりによるスポーツ活動の広がりなど、堅調な状況が続いています。

このような経営環境のもと、各運営事業においてレジャーや国内旅行、インバウンドなどの急回復需要獲得を図るため、施設の拡大や戦略的なマーケティング施策を実施しました。また、新規事業として、ゴルフコースに隣接した眺望抜群のヴィラでプライベート空間と開放感が同時に楽しめる“フェアウェイフロントヴィラ事業”の推進や、「滞在型貸別荘」を提案する“リソルステイ事業”の施設拡大、リソルの森における新たなペットヴィラ事業の推進などを着実に進めました。

同時に、グループの価値基準「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針「3つのやさしい」（人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい）の実践を徹底し、各事業においてサービス体制を強化してお客様の満足度向上を図りました。

ホテル運営事業では、国ごとのインバウンド施策や、女性客・観光客に選ばれる“ツーリストホテル”を目指したサービス・品質の向上を図り、業績は順調に推移しました。同時に、“ホテルリソル”の新たなコンセプトとして「物語のあるホテル」を掲げ、「Design」（1つ1つのホテルデザインコンセプト）、「Eatwell Breakfast」（管理栄養士監修の健康的でおいしい朝食）、「Relaxation」（ホテル本来の目的である“くつろぎ”を提供）の3つを強みとしたブランディングの推進を図りました。また、中長期滞在に対応した新たなシリーズとして、2023年4月1日に開業した「ホテルリソルステイ秋葉原」をはじめ、グループホテルにおいて国内旅行とインバウンド需要のバランスをうまく見極めながら全体的に稼働は好調に推移しました。

ゴルフ運営事業では、新規の4ゴルフ場（関西CC、三木よかわCC、望月リソルGC、有田リソルGC）が加わった効果や、ゴルフ会員権販売が好調に推移したことで、売上が前年を上回りました。また、事業拡大を図るための戦略的買収を行い、「入間カントリー倶楽部」を新たなリソルグループゴルフ場として8月31日から運営を開始しました。さらに、ゴルフコースに隣接した眺望抜群のヴィラでプライベート空間と開放感が同時に楽しめる“フェアウェイフロントヴィラ”事業において、利用権型会員制リゾートクラブの販売（スパ&ゴルフリゾート久慈）を進めたほか、新たなヴィラ建設計画（大熱海国際ゴルフクラブ）を推進しました。

リソルの森（CCRC）事業では、宿泊者が滞在期間中にスポーツ施設や敷地内アクティビティを無料で利用できるサービス（インクルーシブエクスペリエンス）の効果もあり、リピート客の利用が順調に推移しました。また、インバウンドツアー（台湾・韓国）による「ゴルフ&ステイ」の利用増加や、チームビルディングを活用した企業研修など、団体の利用が大幅に伸びて付帯売上げが増加しました。さらに、施設のリニューアルによるブランディング効果もあり、ゴルフ会員権や不動産販売も堅調に推移しました。

福利厚生事業では、新規顧客開拓を図るための外部提携や「精算システム」「プラスユアチョイス」「直営施設」などの差別化提案を図り、会員企業の新規契約の成約や内定が順調に増加しました。また、旅行会社とのコラボ商品や会員ニーズを取り入れたメニュー、検索サービスシステムなどの開発に注力しました。

再生エネルギー事業では、福島石川太陽光第四設備の開発を推進しました。また、グループゴルフ場における新たなソーラーカーポート建設や太陽光発電設備事業用地の検討を図りました。

投資再生事業では、「福島石川太陽光第三設備」の土地売却を実施しました。また、新規ゴルフ場の取得を着実に進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、運営事業の収益が大幅に改善し、売上高は12,967百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は1,332百万円（前年同四半期比40.9%増）、経常利益は1,239百万円（前年同四半期比41.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,163百万円（前年同四半期比108.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、44,928百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,264百万円増加しております。これは主に有形固定資産が2,441百万円増加、その他の流動資産が737百万円減少等によるものです。負債につきましては、30,508百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,372百万円増加しております。これは主に、預り保証金が1,848百万円増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年10月19日付の「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2023年5月11日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の連結業績予想を修正しております。今後、連結業績予想の修正の必要性が生じた場合は、速やかに「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,224,298	5,537,739
営業未収入金(純額)	1,459,430	1,687,736
商品	115,314	122,263
販売用不動産	2,222,141	2,113,414
貯蔵品	97,022	120,808
その他	1,772,957	1,034,990
流動資産合計	10,891,164	10,616,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,676,791	6,895,513
土地	16,510,546	18,878,740
その他(純額)	2,593,137	2,447,945
有形固定資産合計	25,780,475	28,222,199
無形固定資産		
のれん	364,497	337,945
その他	481,139	567,505
無形固定資産合計	845,636	905,450
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	5,145,970	5,183,601
固定資産合計	31,772,082	34,311,251
資産合計	42,663,246	44,928,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	326,723	369,412
短期借入金	3,400,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	3,721,384	3,736,868
未払法人税等	229,946	134,448
賞与引当金	164,212	230,256
役員賞与引当金	9,000	—
その他	3,997,755	4,156,481
流動負債合計	11,849,021	10,127,467
固定負債		
長期借入金	8,933,808	10,210,894
預り保証金	6,165,188	8,013,614
退職給付に係る負債	412,851	435,985
従業員特別補償引当金	9,850	103,850
資産除去債務	202,417	193,985
その他	1,563,111	1,422,843
固定負債合計	17,287,227	20,381,173
負債合計	29,136,249	30,508,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,242,908	2,244,531
利益剰余金	7,313,477	8,201,066
自己株式	△21,396	△20,732
株主資本合計	13,483,077	14,372,954
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	18,388	17,956
その他の包括利益累計額合計	18,388	17,956
非支配株主持分	25,531	28,652
純資産合計	13,526,997	14,419,562
負債純資産合計	42,663,246	44,928,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,682,766	12,967,747
売上原価	5,677,504	3,956,203
売上総利益	7,005,261	9,011,543
販売費及び一般管理費	6,059,960	7,679,182
営業利益	945,300	1,332,360
営業外収益		
受取利息	19	19
受取賃貸料	3,926	4,355
受取保険金	5,128	330
雇用調整助成金	28,203	—
還付金収入	4,079	6,232
その他	47,363	29,507
営業外収益合計	88,720	40,444
営業外費用		
支払利息	76,649	84,480
支払手数料	61,964	34,060
その他	19,201	14,888
営業外費用合計	157,815	133,429
経常利益	876,205	1,239,375
特別利益		
固定資産売却益	17,791	454
負ののれん発生益	—	148,677
その他	437	—
特別利益合計	18,229	149,131
特別損失		
固定資産売却損	577	—
固定資産除却損	4,841	31,228
従業員特別補償引当金繰入額	—	94,000
その他	1,687	8
特別損失合計	7,106	125,236
税金等調整前四半期純利益	887,328	1,263,271
法人税、住民税及び事業税	343,681	104,685
法人税等調整額	△14,682	△7,853
法人税等合計	328,999	96,831
四半期純利益	558,329	1,166,439
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,132	2,746
親会社株主に帰属する四半期純利益	557,197	1,163,692



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	558,329	1,166,439
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△82	△432
その他の包括利益合計	△82	△432
四半期包括利益	558,247	1,166,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	557,114	1,163,260
非支配株主に係る四半期包括利益	1,132	2,746

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	887,328	1,263,271
減価償却費	444,572	511,308
のれん償却額	41,921	26,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△63	△3,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	△723	55,544
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,037	△17,374
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△9,000
受取利息及び受取配当金	△2,033	△33
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	-	94,000
支払利息	76,649	84,480
雇用調整助成金	△28,203	-
受取保険金	△5,565	△330
固定資産除却損	4,841	31,228
固定資産売却益	△17,214	△454
支払手数料	61,964	34,060
負ののれん発生益	-	△148,677
売上債権の増減額(△は増加)	220,955	△191,035
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,110,522	139,389
その他の資産の増減額(△は増加)	108,502	730,735
仕入債務の増減額(△は減少)	36,674	42,689
未払又は未収消費税等の増減額	37,216	△110,004
その他の負債の増減額(△は減少)	△481,053	236,100
小計	3,474,256	2,769,424
利息及び配当金の受取額	2,033	33
利息の支払額	△75,489	△80,635
保険金の受取額	5,565	330
雇用調整助成金の受取額	25,625	-
法人税等の支払額	△483,973	△200,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,948,018	2,488,728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	-
有形固定資産の取得による支出	△758,604	△513,435
無形固定資産の取得による支出	△18,236	△92,046
有形固定資産の売却による収入	20,000	454
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△58,421
その他	11,355	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△748,484	△663,598

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,300,000	△1,889,550
長期借入れによる収入	4,006,600	3,180,000
長期借入金の返済による支出	△3,089,472	△1,897,880
リース債務の返済による支出	△153,054	△155,114
自己株式の取得による支出	-	△476
配当金の支払額	△277,447	△277,684
非支配株主への配当金の支払額	△2,000	-
預り保証金の純増減額 (△は減少)	△82,334	△470,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	△897,707	△1,511,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,301,826	313,441
現金及び現金同等物の期首残高	3,452,681	5,224,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,754,507	5,537,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49,894	27,276	30,955	16,002	—	3,600	127,729	△127,729	—
計	3,190,918	3,200,473	1,944,747	459,539	78,384	3,936,431	12,810,496	△127,729	12,682,766
セグメント利益又 は損失(△)	△822,491	358,119	205,890	156	21,507	1,592,725	1,355,907	△479,701	876,205

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△479,701千円は、セグメント間取引消去△104,963千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△374,738千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	3,141,023	3,071,882	1,852,668	74,882	78,384	3,929,551	12,148,392	—	12,148,392
一定の期間にわたり 移転される財	—	101,315	61,123	368,654	—	3,280	534,374	—	534,374
顧客との契約から生 じる収益	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	5,892,005	4,063,622	1,949,292	416,732	48,507	597,586	12,967,747	—	12,967,747
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,527	25,245	25,229	16,625	—	—	118,626	△118,626	—
計	5,943,533	4,088,867	1,974,521	433,357	48,507	597,586	13,086,374	△118,626	12,967,747
セグメント利益	577,849	581,990	229,855	10,970	2,529	135,451	1,538,647	△299,271	1,239,375

(注) ① セグメント利益の調整額△299,271千円は、セグメント間取引消去△101,838千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△197,433千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ運営事業」において、当第2四半期連結会計期間に株式会社入間カントリー倶楽部を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益148,677千円を計上しております。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	5,892,005	3,917,414	1,886,949	66,914	48,507	595,023	12,406,815	—	12,406,815
一定の期間にわたり 移転される財	—	146,208	62,343	349,817	—	2,563	560,932	—	560,932
顧客との契約から生 じる収益	5,892,005	4,063,622	1,949,292	416,732	48,507	597,586	12,967,747	—	12,967,747
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,892,005	4,063,622	1,949,292	416,732	48,507	597,586	12,967,747	—	12,967,747

(重要な後発事象)

該当事項はありません。